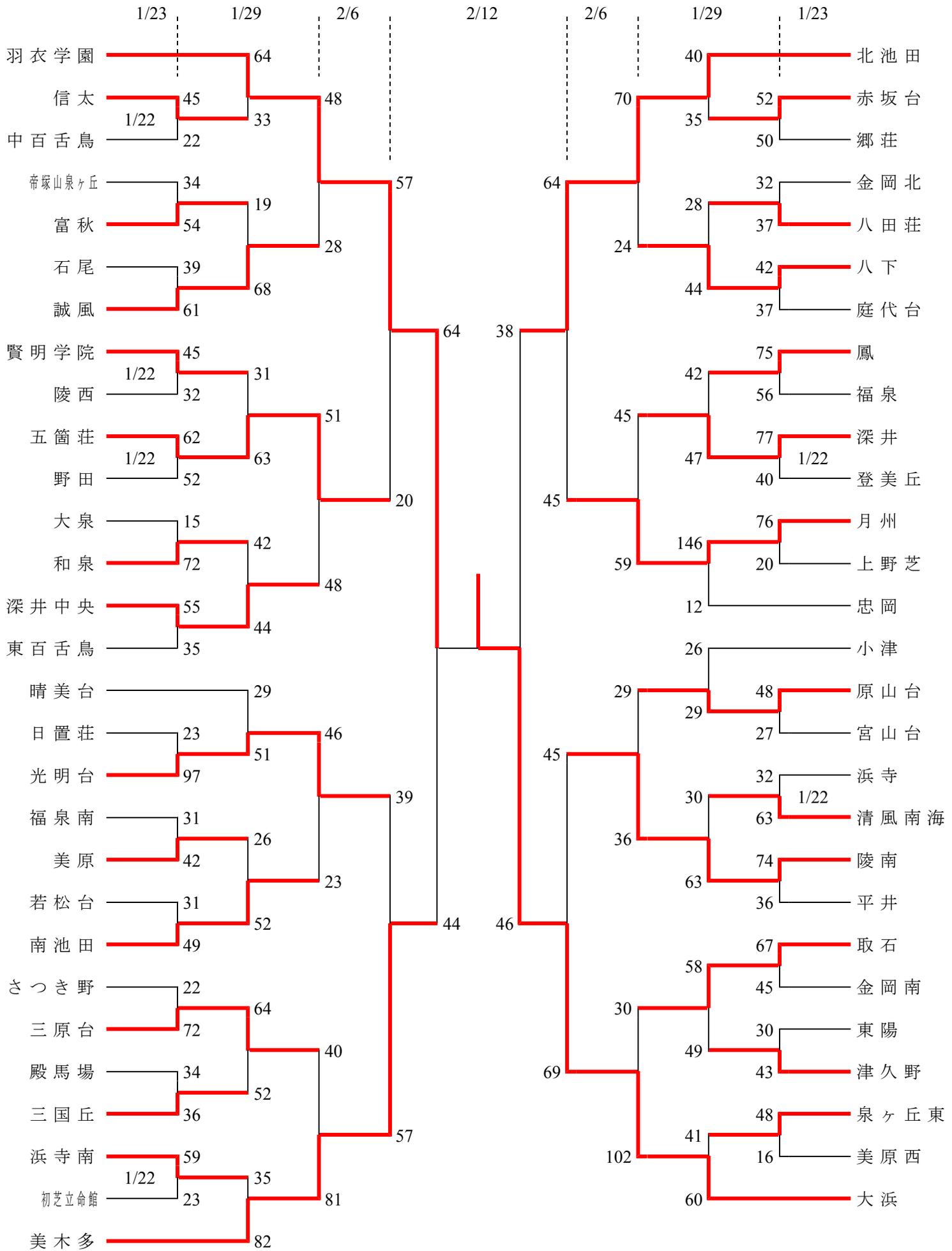




# 女子の部



決勝  
 羽衣学園 50 - 63 大浜  
 10 1Q 17  
 12 2Q 18  
 18 3Q 12  
 10 4Q 16

## 決勝戦評

◎男子 和泉 64-43 美木多  
和泉がハーフコートマンツーマン、美木多が3-2ゾーン。出だしは互いにターンノーバーでリズムをめぐれ、得点を取り合う。和泉は⑤にボールを集めようとするが美木多はそれを狙いにかかると、和泉④の連続3Pで突き放すかと思いきや、美木多も⑦のシュートで追いすがると和泉がインサイドアウトから④の外側のシュートで流れをつかむ。美木多は⑦の1対1で反撃を試みるも、厳しいプレッシャーで思うように得点が伸びない。それでも美木多⑦が連続得点が並びを見せ、27-19と和泉8点リードで前半を終える。3Qに入っても、和泉のインサイドアウトからのシュートが効果的に決まり、試合の流れは和泉に傾く。美木多は⑦を中心にオフェンスを組み立てようとするも、疲れが見え始め、単調なオフェンスとなってしまう。4Qでは美木多がなんとか流れを変えようと前から仕掛けるが、和泉がディフェンスの裏に効果的なパスを送り、主導権を譲らない。試合の流れをつかみ続けた和泉が64-43と美木多を突き放して優勝を飾った。

(真壁)

◎女子 羽衣学園 50-63 大浜  
両チームともにマンツーマンでスタート。大浜⑤のシュートで試合が動き出す。大浜はディフェンスとリバウンドから得点へつなげる。対して羽衣は時折速攻で攻めるものの、主導権は奪えず17-10と大浜がリードして1Qを終える。2Qに入ると羽衣は前かからしかけてくる。大浜⑤の4本連続得点に対し、羽衣④の3P、⑤の速攻、⑥のフリースローで対抗。大浜はリバウンドから速攻のパスミスが目立ち、一方羽衣もシュートがなかなか決まらず、互いにリズムをつかめない。しかし、残分4のTOを機に大浜が⑤の速攻、⑧の3Pで点差を13点にあける。羽衣は1-2-1-1プレスから3-2のゾーンを試みるが、リズムは変わらず35-22で前半を終える。3Qに入ると羽衣のゾーンディフェンスが効果を発揮し、連続で速攻が決まる。羽衣⑤の3Pも決まり、残分4で5点差まで縮める。大浜はたまたまTO。その後、互いに一進一退の攻防を見せ、47-40で3Qを終える。4Qでは大浜が攻めあぐねていたゾーンディフェンスを攻略し始める。大浜⑦のジャンプシュートを中心に連続得点を重ね、点差を12に広げる。羽衣もTOから④のゴール下やディフェンスからの速攻で対抗するが、大浜⑤がゴール下で着実に得点を重ね、63-50で終了した。大浜の持ち味であるマンツーマンディフェンス、リバウンド力が発揮されたゲームであった。

(安慶名、福渡)